

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)紫野和久傳久美浜新工房	階数	地上1F
建設地	京都府京丹後市久美浜町谷小字中	構造	S造
用途地域	都市計画区域及び準都市計画区域	平均居住人員	90人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2014年3月13日
敷地面積	10,883 m ²	作成者	秀田 和則
建築面積	2,884 m ²	確認日	2014年3月13日
延床面積	2,568 m ²	確認者	福本 保治

外観パース:別紙にて添付
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 86%

③上記+②以外のオンサイト手法: 85%

④上記+オフサイト手法: 85%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	現状の敷地形状を生かし、盛土や切土を最小限に抑えた配置計画とします。工場にありがちな簡素・無機質は表情を払拭し、周辺環境と調和を確保しながら意匠性の高い外観計画とします。工場内は利用者の動線と機器のレイアウトの配置を優先させた合理的な平面計画とし、作業の効率化を図ります。室内の天井高さは、圧迫感を感じさせない最低限の高さとし、エネルギー効率のよい断面計画とします。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
食品工場としての衛生環境を整えると同時に、シックハウスや有害化学物質対策としてVOC放散量の少ない建材を選択することにより、空気環境の向上を目指している。	利用者の動線、エリアを作業単位で分離する事により、各々の性能の向上を推進している。	敷地境界を取り囲む様に中高木を含む緑地帯を設ける事により、敷地本来の景観の維持に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
食品工場としての標準的な水準を満足するように計画している。また、太陽光発電システムの導入等によりエネルギー負荷の抑制に努めている。	食品工場として標準的な水準を満足するように計画している。	食品工場として標準的な水準を満足するように計画している。低温ゴミ庫・ダンボールゴミ庫等種類に応じたゴミ置き場を設けることで、分別の効率化を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい